



京都府宮津高等学校・宮津天橋高等学校 フィールド探究部巨樹班

京都府宮津市滝馬 2 3

森と共に生きる
~Our living heritage~



未来に伝える巨樹の森

Action

丹後地域の巨樹の分布から、自然・歴史の特徴や人との関わりを読み解き、保全・活用に繋げることを目標に調査を行っています。環境省の規定に従い、樹種・胸高幹周・位置情報等をデータベース化し、証言や文献と併せて分析しました。

これまで2720本（11月末現在）を確認し、平野部では、防火林としての機能や、明治の神道国教化政策、海に面した丹後の生活との関わりが見えました。一方、山間部では特徴的な分布と樹形が見られました。丹後町依遅ヶ尾山のタブノキ、高山周辺の「あがりこ」ブナ、宮津市杉山の台状スギがその代表でした。同程度の標高の3地点における優占種の違いは、気候・地質への適応の違いと考えています。また、「あがりこ」ブナや台状スギは再生を前提とした樹木活用を反映しています。このように、森林と人間生活との関連から、その保全には人の関わりが不可欠だと考え、幼児や高校生が森を体感的に学び・楽しむ機会を企画・実践しました。